



写真:エナガ (撮影:平成25年11月25日)

「エナガ」

小さな体、小さなくちばし、もふもふしたかわいい野鳥

朝夕、グッと冷え込んできた霧島山。夏鳥たちは繁殖を終え長い旅へ。そして遠い地、シベリアからの冬鳥たちを迎えます。渡りの季節、観察できる野鳥たちは大きく変わります。

しかし留鳥であるエナガは相変わらずえびの高原で出会えます。日本で2番目に小さな野鳥エナガ。名前の由来となっている長い尾羽、小さなくちばし、まん丸な体、せわしく動きまわりとても可愛らしい野鳥です。

えびの高原では10羽ほどの群れをつくりアカマツ林を飛び回る姿をよく見ます。双眼鏡で観察してみると、どうやら枝をつついて食べ物を探しているようです。樹皮の隙間に入り込んで冬を越そうとしている昆虫などちが、エナガにとって冬をのりきる重要な食糧となるのでしょうか。

「ジュリジュリ」と鳴き声でしたら立ち止まって野鳥の姿を探してみましよう。一生懸命木々の間を飛び交う小さくてまん丸なエナガを見つけられるかもしれません。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

エナガ
Aegithalos caudatus

スズメ目エナガ科

